会　議　記　録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会　議　名	令和４年度　第２回　高松市都市計画審議会
開 催 日 時	令和５年２月２１日（火）　午後３時～午後４時２０分
開 催 場 所	高松市役所本庁舎１３階　大会議室
議　　題	議案第１号　高松広域都市計画道路の変更（高松市決定） その他　　最近の都市計画行政 「琴電連続立体交差事業の都市計画のあり方」の検討状況について
公開の区分	■　公開　　□一部公開　　□非公開
上 記 理 由	－
出 席 委 員	太田委員、川口委員、紀伊委員、清水委員、土井委員、三笠委員、杉本委員 中村委員、大山委員、吉峰委員、黒木委員（代理：国土交通省四国地方整備局　香川河川国道事務所　副所長　黒口　貴弘）、生田委員、中野委員
欠 席 委 員	妻鹿委員、吉田委員
参　考　人	香川県都市計画課長
傍　聴　者	０人（定員　１０　人）
担当課及び 連　絡　先	都市整備局　都市計画課 Tel　８３９－２４５５　Fax　８３９－２４５２

会議経過及び会議結果
会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。 議事 （１）会長の選任 （２）議案の審議 議案第１号　高松広域都市計画道路の変更（高松市決定） （３）その他 最近の都市計画行政 「琴電連続立体交差事業の都市計画のあり方」の検討状況について **（１）　会長の選任** 【事務局】 会長の選任につきましては、条例第５条の規定により、１号委員（学識経験者）のうちから委員の互選により、定めることとなっておりますが、皆様から、御提案がございましたらお願いいたします。

会議経過及び会議結果

【紀伊委員】

学識経験者の中から、大阪大学大学院教授の土井委員にお願いしたいと思います。

土井委員さんにおかれましては、高松市総合都市交通計画推進協議会、香川県地方港湾審議会の会長を務められており、都市計画分野を始め、幅広く、豊かな学識をお持ちでいらっしゃいますので、皆様方にお諮りいただいて、御賛同がいただければ、会長をお願いしたいと存じます。

（委員賛同）

（土井委員が会長就任）

（２） 議案の審議

事務局より議案第１号について説明。

（主な質疑・意見等）

【土井会長】

全国的に都市計画道路の着工の見込みのないものを廃止するような動きが随分前にありましたが、今回は南北軸とその繋ぎのようなところの変更だと思うのですが、まちづくりの観点からの意図はどういうことになりますか。

【事務局】

今回の見直しは２回目に当たりまして、１回目が高松海岸線近くの戦災復興事業の区域外の計画に残っていた路線を見直したものでございます。

今回の変更部分につきましては、人口減少が本格化するということで、より集約型の都市構造を目指し、比較的、街中に自動車交通を呼び起こすような、道路網については少し見直しを行ってはどうかという御意見をいただいたことから、そういった視点も踏まえていきながら、郊外から自動車交通を呼び起こすような交通道路網を見直していった状況でございます。

【土井会長】

残っている道路網は安全性と公共交通をサポートする道路というふうに進めていると受けとめてよろしいでしょうか。

【事務局】

はい。そのとおりでございます。

【土井会長】

その他、御意見ありますでしょうか。（意見なし）

（結果）

原案のとおり決定。

（３） その他　最近の都市計画行政

事務局より、最近の都市計画行政について説明。

（主な質疑・意見等）

【三笠委員】

会議経過及び会議結果
どのようにデジタルを有効に使えて、市民サービスの向上につなげられていけるかを、説明しないと分かりにくいと思います。 ゲームを活用すれば、ゲームの画面を見ながら子供たちだけでなく、家族そろって出かけるような流れができます。そういう中で、高松を活性化させるような流れを作っていくための、材料になるということを伝えていった方がいいと思います。 【事務局】 デジタル田園都市国家構想推進交付金事業の中でやっている事業は、インフラのデータをもとに、グーグルマップのようにサクサク動く地図の中にいろんな属性情報が入った資産データを、ぶら下げられる状態にすることを現在行っております。これができると何がサービス的にすごくよくなるかというと、将来的には例えば道路の申請であるとか、都市計画の情報の取得がウェブ上、インターネット上で取れるようになります。 行政側としても窓口業務に対する時間削減にもなり、市民にとっても、窓口に来るということが相当簡素化でき、時間の短縮が図れます。 不動産情報やインフラの情報がしっかり公開されるということは不動産が動きやすくなることが考えられ、経済効果が得られることもありますし、その中のユースケース、使い方の一つとして、ゲームを活用することによって子供たちを誘引していくっていうのをやっていきたいと考えております。 【川口委員】 20 ページの事業スケジュールは実際こういう日程で進んでいますか。 【事務局】 契約自体は少し押していますが、概ね、スケジュールどおりで動いているというところです。 【川口委員】 システム開発がそんな短期間で今年の 7 月実施までに間に合うものでしょうか。 【事務局】 デジタル田園都市国家構想推進交付金事業で、今年度既に進めている部分がございます。 そのため、システム開発の短縮ができているということと、PLATEAU（プラトー）データをマインクラフトの世界にコンバートする期間は、十分、スケジュールの中で可能と考えております。 【大山委員】 子どもたちにゲームによるメタバースの空間にどんどん入って、街を作っていくということで、話を聞いていたら楽しいなって思いました。 それを最後には仮想空間とリアルな空間を曖昧にして、それがリアルな空間にしていければ一番いいということなのですが、子供たちの参画を具体的にどのように進めていくのか、学校に連絡するなど、どのように考えておりますでしょうか。 【事務局】 教育委員会側にも案内をかけていまして、学校側に直接要望していくっていうのは当然考えております。 簡単な動画などを作りながら、発信をしっかり行い、こういうことをやりたいということを子供たちに届くように、しっかりやっていきたいと思っております。 【大山委員】

会議経過及び会議結果
その仕組みがもしうまくいくようになれば、子供たちが大きくなった際にもしかしたら高松に定住する方向にも進むのかなと思ったので、ぜひしっかりとやっていただきたいなと思います。 【土井会長】 教育ということで言うと、マインクラフトを子供たちが操作するというよりは、子供たちはＡＩを作って、AI でマインクラフトをやるというのが一番やろうとしていることだと思います。 子供たちは AI をどのように仕組みを作るかっていうことにはとっても関心がありますが、まちづくりにはそんなに関心がないかと思います。 そこが上手に繋がると教育にも生かせるのかなと思います。 **（３）その他　「琴電連続立体交差事業の都市計画のあり方」の検討状況について** 参考人（香川県）より、「琴電連続立体交差事業の都市計画のあり方」の検討状況について説明。 （主な質疑・意見等） 【清水委員】 廃止の方向で話が進んでいるということでしょうか。 【香川県】 廃止の方向性をもって検討を進めるということを昨年 3 月の琴電連立検討委員会で了承いただいておりまして、現在パブリックコメントを行った結果を取りまとめているところでございます。 今年の 3 月には琴電連立検討委員会としての取りまとめを行うこととしており、廃止の方向で進めることを考えております。 【清水委員】 琴電の電車の駅は瓦町駅で 2 階になっており、高架ができるような準備ができているから、JR 高松駅まで繋がれば、交通の便が良くなり、高松駅から電車に乗り換えて、すぐに街中に来ることができます。そうすれば周りから車が入ってくる量が減ってくるし、交通安全などもうまくいくと思いますが、廃止したら今までどおりです。往復の電車が通る際などには、長い時間、踏切で待たされることになります。 現状、街中は便が悪いと思うのですが、皆さんいかがですか。 【香川県】 先ほど御意見がございました踏切での渋滞や待ち時間については、琴電連立検討委員会の中でも調査を行いましたし、現状を確認しております。 国道 11 号の福田町の第四踏切や、観光通りの踏切も待ち時間があるのですが、本町踏切の渋滞がその中でも一番ひどく、そのことに対してストレスを感じる市民の方が多いというのをアンケート調査で確認できております。 廃止によって、福田町の踏切や観光通りの踏切は、高架化による対策はできないことにはなるので、一定、道路管理者も含めた対策を考えることが必要かと思いますが、まずは本町踏切の抜本的なボトルネック対策というものを、今後、国や高松市と連携しながら進めていくということで、委員会で御報告させていただいており、その方向で進めていきたいと考えているところです。

会議経過及び会議結果
【清水委員】 その事業は国、県、市、琴電の 4 者で進めていくということですか。 【香川県】 琴電連立事業を過去に行っていた際には、国の補助事業等を受けて、また、鉄道事業者からの御負担をいただきながら進めていたところですが、本町踏切の抜本対策としては、現在、国により高松環状道路が寿町から檀紙町まで、計画段階評価ということで検討が進められております。 私どもは、この計画段階評価の中に、本町踏切の課題についてもあわせて検討いただくような要望をさせていただいておりまして、高松環状道路の事業が進んでいけば、高松市はその下の市道管理もされておりますので、国、県、市が連携をしながら、ボトルネック対策に取り組んでいくということも含めて、先ほどそういった言い回しを使わせていただいた次第でございます。 【清水委員】 本町踏切はよく通るのですが、渋滞しており、いつも踏切が危ないと思うが、みんなが危ないと思っているがゆえに、気をつけているから、事故が少ないのだと思います。 しかし、すごい交通量だと思いますので、公共交通に重点を置くのなら、人の流れがスムーズにいくように考えてほしいと思います。 【紀伊委員】 琴電連立検討委員会にも関わっているので、少しだけコメントさせてください。 今、清水委員がおっしゃられたとおり、まさに踏切を便利にするためにこの事業がそもそも立案されたのですが、皆さん御存知のとおり、琴電の経営が上手くいかなくなったので、この事業が実施できなくなってしまって、計画だけが残り、20 年経ってしまったという状況です。 計画を存続させるべきか廃止するべきか含め検討をしていましたが、今の状況で計画を残して、いつできるのかというと、おそらくまだ 20 年 30 年待たされることになるだろうという見通しであったことを考えると、これからまさにサンポートエリアがいろいろと変化していく中でもありますし、時代も変わっていく中で、計画を廃止した方が、おそらく高松にとって、いい未来があるのではないかというのが、琴電連立検討委員会の結論ということです。 【清水委員】 どんな未来ですか。 【紀伊委員】 計画が残っていることにより、結局いろいろなことに手をつけられない状況にあります。 琴電が高架化されることを前提にしているので、例えば道路のオーバーパスを作ろうと思ってもそれが出来ない、高松築港駅の駅舎も計画が残っていると変えられない、そういったところを計画が見直されることによって、これから考えていくことができるようになります。 【清水委員】 車ばかりが増えるように道路を作るのではなくて、公共交通の JR や琴電等を乗り換えて、瓦町や片原町の街中へ人が流れていけるよう、車はなるべく街中に入ってこないような工夫をするべきではないでしょうか。 【紀伊委員】 全く同意するところですし、おそらく琴電連立事業の計画をやめることによって、そういった方向の新しいアイディアを出していけるようになるということだと思います。

会議経過及び会議結果
【清水委員】 香川県は道路ばかりで、公共交通がものすごく不便であり、交通事故がたくさん増えてくるという悪循環の中に、香川県も高松市もあると思います。 バスや電車など、もっと公共の乗り物でいろいろな人が行動できるようにする必要があります。 それが整ってなく、道路ばかりつくり、車ばかり走らすという方向でなく、高齢者もみんなが困らないような、公共交通を活用して行動できるように、ぜひして欲しいなと思います。 琴電連立事業の計画は何十年も前から楽しみにしていました。 高松市の西側は公共交通が少なく、車がなければ行動できない状況です。 そのため、公共交通を使い、街中に出てきたり、病院に行ったりできるような、まちづくりをぜひ、してほしいです。 【土井会長】 少し認識を変えていただきたい点があるのですが、連立事業というのはどういう事業かというと、事業の一番の本質は、鉄道を上げるのではなくて、鉄道の横に道路を増やすという道路事業です。 【清水委員】 それはおかしいと思います。 【土井会長】 なので、その仕組みは１回ここで切りましょうという意思表示です。 【清水委員】 計画も全て廃止して、道路もつけないということですか。 【土井会長】 本日、都市計画道路の変更の議案がございましたけれども、そもそも道路の役割をこれまでよりも道路交通をさばくとか円滑にするという発想ではなくて、より安全に、より公共交通をサポートできるような道路にしていこうということが必要なのですが、残念ながら連立事業はそういう事業ではないです。 【清水委員】 そこが矛盾していると思います。 【土井会長】 そこのところを認識されていないとすると、もう少し御説明が必要かなと思います。 これからのまちづくりは、鉄道を上げたりするということではなくて、やはり公共交通は人がすぐ乗れるような平面にあるべきだと。人は歩くし、すぐ公共交通に乗れるという、今の琴電の良さを生かしていくというところが、重要なまちづくりであり、足づくりかなと思います。 この辺はある意味県で議論をしていただいて、この都市計画審議会では、もう既にこの廃止の方向で一定の共通認識が得られているということで進めてよろしいですか。 （意義なし） 【土井会長】

会議経過及び会議結果
今日は意見交換をさせていただきましたけども、連立を廃止する理由というのはもう少し市民に再び、御説明いただく時期かなと思います。 道路を増やすという事業でもあるということをもう少し認識していただくことが必要です。 【香川県】 今後、委員会としての結論は、令和５年３月に取りまとめるのですが、その先には法定手続きとして、公聴会や説明会、そういった住民の方と直接その会議で意見をお伺いする場面もございますので先ほど会長がおっしゃられたような、丁寧な説明っていうのも引き続き心がけて参りたいと思っておりますので、また、この審議会におきましても、御意見を伺う場面が出てきますのでその際はよろしくお願いしたいと思っております。